

ちゃんと かわら版 千歳

千歳市青葉・本田安子さん 市内除排雪関連に計700万円を寄付



本田安子さん(千歳市青葉6)は3月19日に、千歳市内の除排雪に関連する事業に充当してほしいとして現金670万円を寄付。本田さんは令和7年2月にも30万円の寄付をしており、計700万円の寄付を行いました。これに対する式

典や市長表敬によるセレモニーは本人の意向により行われませんでした。

への恩返しのご気持ちを寄付に込めたことを語ってくれました。

本田さんは「過去に千歳市内で古本屋を営んでいた際に、お客さまに助けられることで事業が継続できていると強く感じていました。そうしたお店を支えてくれたお客さまを含めた千歳市全体に恩返しをしたい」と考え、雪の降る冬場に多くの市民の役に立つと思われる除排雪事業へ寄付を行いました」と千歳市全体

実には本田さんは令和7年以前にも、令和4年に100万円、令和5年に50万円、令和6年に50万円と継続的に寄付を行っており、令和7年分も含めた累計額は900万円となっています。いずれも「心のふるさと千歳基金」に積み立てられ、本田さんの意向に沿って除排雪事業に充当しているといえます。

「日本着付学会名人」とは、日本着付学会入会試験を受け同会に入会、続いて同会の芸術委員認定試験に合格した後、年に一度の日本十傑選考会で一段から選考を受け、五段の名人に認定された人だけが名乗れる称号です。全国にわずか27人、北海道では、3人目の快挙だといえます。なお、名人に認定されるには、最短で6年の歳月が必要です。

また4月9日に同工場で行う最先端のグリーン水素活用実証事業に向けた工事の「安全祈願祭」にも参加した宮崎工場長は、JR長都駅ホーム下の藪でゴミを拾いながら「北海道千歳工場は、千歳に拠点を構えて今年で50周年、来年はピールの生産をはじめ40周年の節目の年を迎えます。長い間、千歳の皆さまに支えられて、物づくり、ビールづくりをさせてもらっているので地域や環境に優しい工場であること

除排雪事業を担当する建設部道路管理課の押川昌之課長は「本田さまからのご寄付は、冬の安全かつ円滑な道路交通の確保に大きく貢献していただいております。心から感謝しております」と個人からの多額の寄付への感謝を述べていました。

千歳恵庭美容協会は、4月8日ANAクラウンプラザホテル千歳で「黒澤知代氏日本着付学会名人受賞祝賀会」を開催しました。共催は北海道講師会札幌・日胆ブロック。



と思っています。これからは、さらに努力をして、恩返しをしていきたいです」と受賞の喜びを語りました。

祝賀会には美容・着付けに携わる約60人が集まり、和やかに会食を楽しみながら、記念写真を撮るなどして黒澤さんの名人受賞を祝いました。会の最後には、北海道美容講師会の大野博繁副会長が「日本着付学会会長は全国にわずか27名しかいません。しかし、そのうち3名が北海道で、私たちの仲間であることをとても誇らしく思います。そして、そのことを多くの方に伝えていくことが重要だと考えています」と述べ、祝賀会を一本締めで閉会しました。

キリンビール株式会社北海道千歳工場(宮崎知宏工場長)は、4月12日にJR長都駅ロータリー周辺のゴミ拾い活動を実施しました。参加者は同工場の有志約20人。

KIRINのロゴが入った赤いジャンパーに身を包んだ尾花正樹総務広報担当部長にお話を聞くと「実は毎月、工場周辺のゴミ拾いは10年以上続けています。今回、ゴミゼロ活動を行ったJR長都駅は工場の最寄り駅で、当然弊社の従業員も利用しますし、工場の見学に訪れるお客さまが利用される駅でもあります。しかし、雪が溶けて春が来るとホームやロータリーの周辺のゴミが目立ち、気になっていました。今回の活動で、これが解決できて、非常にすっきりとした気分です」と気になっていたゴミを拾うことができたとうれしさを語ってくれました。

また4月9日に同工場で行う最先端のグリーン水素活用実証事業に向けた工事の「安全祈願祭」にも参加した宮崎工場長は、JR長都駅ホーム下の藪でゴミを拾いながら「北海道千歳工場は、千歳に拠点を構えて今年で50周年、来年はピールの生産をはじめ40周年の節目の年を迎えます。長い間、千歳の皆さまに支えられて、物づくり、ビールづくりをさせてもらっている



はとても大切だと思っています。そのため、ゴミ拾いのような活動は私のなかで非常に重要です。きれいな千歳工場、きれいなビールをこれからもおいしく提供できるように頑張ります」と地道なゴミ拾いの重要性を話してくれました。

黒澤知代さん日本着付学会の北海道で3人目の名人を受賞



所在地: 千歳市あずさ4丁目6-7 ■学校: 千歳市立末広小学校・千歳市立富丘中学校 ■交通: JR千歳線千歳駅(車で8分) ■用途地域: 第一種低層住居専用地域 ■建築率: 40% ■容積率: 60% ■ガス: 都市ガス ■電気: 北海道電力 ■上下水道: 千歳市 ■道路: 区画内幅員8m公道アスファルト舗装 ■取引態様: 売主 ■工法: 木造枠組壁工法(2×4工法)

また4月9日に同工場で行う最先端のグリーン水素活用実証事業に向けた工事の「安全祈願祭」にも参加した宮崎工場長は、JR長都駅ホーム下の藪でゴミを拾いながら「北海道千歳工場は、千歳に拠点を構えて今年で50周年、来年はピールの生産をはじめ40周年の節目の年を迎えます。長い間、千歳の皆さまに支えられて、物づくり、ビールづくりをさせてもらっている



はとでも大切だと思っています。そのため、ゴミ拾いのような活動は私のなかで非常に重要です。きれいな千歳工場、きれいなビールをこれからもおいしく提供できるように頑張ります」と地道なゴミ拾いの重要性を話してくれました。

黒澤知代さん日本着付学会の北海道で3人目の名人を受賞

祝賀会には美容・着付けに携わる約60人が集まり、和やかに会食を楽しみながら、記念写真を撮るなどして黒澤さんの名人受賞を祝いました。会の最後には、北海道美容講師会の大野博繁副会長が「日本着付学会会長は全国にわずか27名しかいません。しかし、そのうち3名が北海道で、私たちの仲間であることをとても誇らしく思います。そして、そのことを多くの方に伝えていくことが重要だと考えています」と述べ、祝賀会を一本締めで閉会しました。

祝賀会には美容・着付けに携わる約60人が集まり、和やかに会食を楽しみながら、記念写真を撮るなどして黒澤さんの名人受賞を祝いました。会の最後には、北海道美容講師会の大野博繁副会長が「日本着付学会会長は全国にわずか27名しかいません。しかし、そのうち3名が北海道で、私たちの仲間であることをとても誇らしく思います。そして、そのことを多くの方に伝えていくことが重要だと考えています」と述べ、祝賀会を一本締めで閉会しました。

祝賀会には美容・着付けに携わる約60人が集まり、和やかに会食を楽しみながら、記念写真を撮るなどして黒澤さんの名人受賞を祝いました。会の最後には、北海道美容講師会の大野博繁副会長が「日本着付学会会長は全国にわずか27名しかいません。しかし、そのうち3名が北海道で、私たちの仲間であることをとても誇らしく思います。そして、そのことを多くの方に伝えていくことが重要だと考えています」と述べ、祝賀会を一本締めで閉会しました。

祝賀会には美容・着付けに携わる約60人が集まり、和やかに会食を楽しみながら、記念写真を撮るなどして黒澤さんの名人受賞を祝いました。会の最後には、北海道美容講師会の大野博繁副会長が「日本着付学会会長は全国にわずか27名しかいません。しかし、そのうち3名が北海道で、私たちの仲間であることをとても誇らしく思います。そして、そのことを多くの方に伝えていくことが重要だと考えています」と述べ、祝賀会を一本締めで閉会しました。